

# 概 要 報 告

実施期日	8月2日(火)
部会名	中学校 特別活動部会

## テーマ

『生徒の自治の力を育成する生徒総会 ～中心議題を通して～』

## 提案概要

中学校学習指導要領の第5章において、「〔学級活動〕及び〔生徒会活動〕の指導については、指導内容の特質に応じて、教師の適切な指導の下に、生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるようにするとともに、内容相互の関連を図るよう工夫すること」と記されている。今回は、学習指導要領に則り生徒会活動を通じた、生徒の自治の力の育成についての実践に取り組んだ。生徒総会で行われている「中心議題」を生徒の生の声から選び、クラス単位の議会から全校で行われる生徒総会と規模を広くし、協議内容を深めていくことで、1～3年までの生徒の意見が反映されていくことをねらいとした。

以前は、集団の秩序を乱す生徒がいたり、自ら主体的に行動できる生徒が少なかったりしたため、(中心)議題については、まず教員で議論し出した結論を生徒に伝えるという過程を踏んでいた。しかし、「教員がやりすぎている」という反省もあり、「生徒の自治の力を育成する」ことを意識して取り組んだ。「生徒の自治の力を育成する」ため学校のグランドデザインを見直し、学校教育目標を「鍛錬 感謝 意欲」とし、重点目標も「生徒の生徒による生徒のための学校づくり」と改めた。さらに、学校経営の重点においても、生徒の「自治の力」の育成、生徒会活動及び部活動の活性化、学級・学年の諸活動及び学校行事の活性化を筆頭に掲げ、基礎から見直すことに取り組んだ。このような根底からの見直しが行われたことにより、1～3年生までの各学級が、中心議題のテーマに対し、意欲的に取り組むことができる体制が確立された。

また、生徒総会のスタイルも一般的な生徒総会と異なり「コの字型」の体制をとり、各学年から意見が出やすく、そして討論がしやすいように工夫した。そのため、中心議題において、より議論が活発となり、学年、クラスを問わず多くの意見が反映される場となった。

「自治の力を育成する生徒総会」の実践の成果として、学年が上がるにつれ、学校の運営に関わっているという意識が生徒一人ひとり強くなっていったことが生徒アンケートより分かる。また、全校評議会、学級、生徒総会と各場面で(プレ)討論会が行われたことにより、様々な生徒が自分の意見や思いを発表する場ができたことなどが挙げられる。課題としては、誰もが興味をもてるテーマ設定の難しさ、話合いの結論をどこで決定するかなどが挙げられる。

## 質疑概要

Q. これまで行われてきた「中心議題」の最終決定はどこが行ってきたか？

A. 基本的には生徒だが、内容によっては話合いの動向を参観した教師側が決定をした。

Q. 発表者は自治の力をどのように解釈しているか？

A. 基本的には生徒の手で学校を運営していく力。外に向けて発信する力。さらに、学校をより良くするために何かを提案したいと思う力。

Q. 今回の提案のようなことを実践するにはどれくらいの期間がかかるか？

A. 「中心議題」を行うためには1年間かかった。ただし、学校全体で協力する体制がないと厳しい。「コの字型」生徒総会は、教員間の意思統一がなければ成し得なかった。

## 研究協議概要

「協議の柱：自治の力をつけるための手立て ～具体例やしかけ～」

### 1 グループ

- ・制汗スプレーの使用について話し合い、無香料のものを使うことに決まった。
- ・中央委員会について、上級生が下級生へのアドバイスが出来るように縦割りで座らせている。

### 2 グループ

- ・生徒自身が提案し、デザインしたキャラクターが、学校の「ゆるキャラ」として使われている。

### 3 グループ

- ・議案書を作り報告する形式の生徒総会を行っている。ただ、議案書の読み合わせは学級で工夫している。

### 4 グループ

- ・自治とはどういうものか、生徒の達成感がないと難しい。日頃から考えさせる場面が必要。柱となるものを確立してから実践するべき。

### 5 グループ

- ・生徒総会はシナリオありきの1時間コース。自由討論型をしたが、生徒にとって身近で喫緊のテーマ設定が必要である。例えば「いじめ問題」など。

### 6 グループ

- ・テーマを自分たちで決めさせる生徒総会を行っている。学年が上がるごとに、自治活動の意識が高まっていく。

### 7 グループ

- ・各校クラスで議案書を読み込んで、事前に質問等をとってから生徒総会を行っている。生徒自治については学校事情・生徒事情により難しい学校もある。

## まとめ概要

今を生きる生徒達にとって、課題解決力を身につけさせることはとても大切なことである。相手の気持ちを尊重した話し合いにより、協働して学校づくりに取り組んでいくことは生徒総会のみならず教科等でも応用できることでもある。しかしながら、生徒の自治の力を育成するためには、生徒と教員の普段からの信頼関係が大切である。「自治の力を育成する生徒総会」の取組は、教員と生徒の強い信頼関係のもとに築き上げてきたと考えられる。

研究協議では、自分の学校でも参考にしていきたいという参加者からの意見が多く、本実践より刺激を受け、意欲をかきたてられたことがうかがえた。